

桃咲く里

佐久市立平根小学校
学校だより11月号
令和6年11月22日
文責：教頭 酒井 直治

音のかけ橋～平根小発地域へ～

9日(土)に令和6年度音楽会が行われ、多くの方にご来校いただきました。今年度は「音のかけ橋～平根小発地域へ～」をテーマに掲げ、子どもたちの頑張る姿を地域の方にも見ていただき、学校と地域が一体となって音楽会を作り上げることを願い、土曜開催といたしました。

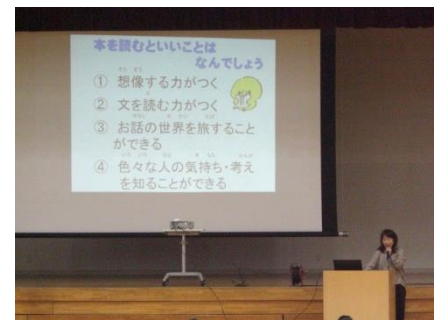
多くの方を目の前にした子どもたちは緊張した面持ちで入場してきましたが、プログラムが進むにつれて緊張もほぐれ、どの子も練習の成果を出そうと頑張る姿が見られました。また、新たな試みとして歌いながら児童が入退場したり、職員合奏により会場の皆様と一緒に「つばさをください」を歌ったりし、体育館内に皆様の歌声が響きあう一時を感じることができました。そして、音楽会後には

椅子や楽器等の片付けにご協力いただきまして誠にありがとうございました。



校長講話～読書旬間に向けて～

読書旬間が始まるにあたり、12日(火)の校長講話では、図書館にまつわるクイズ、読み聞かせ、本の紹介がありました。クイズは「平根小の図書館には本が何冊あるか?」「本を読むと良いことは何か?」というもので広く読書に親しんでほしいと願ってのクイズでした。読み聞かせは「まあちゃんのながいかみ」というお話で、想像力をはたらかせる楽しさと、それを受け入れる寛容性の大切さを感じられるものでした。本の紹介では「〇〇の日曜日」というシリーズ物で、〇〇には体育館や音楽室や理科室などいろいろな場所が入り、日曜日の学校はどうなっているのかというお話でした。読書を通じて自分を耕してほしいと思います。



あすチャレ!スクール

13日(水)に「あすチャレ!スクール」が本校で行われ、講師には伊那市出身でパラリンピック夏冬合わせて5回出場されている加藤正さんをお招きして、5,6年生が車いすバスケットボールや車いすリレーの体験をしました。



まず、加藤さんからは、片脚になられた経緯や学生の頃の思い出についてお話をお聞きました。自分の居場所が感じられなくなってきた高校生の時に車いすバスケットボールと出会い、前向きな気持ちで勇気を持ってやってみたことが現在に至るスタートだったそうです。「失敗こそかっこいい!」というお言葉からは、夢に向かって幾多の失敗を積み重ね、小さな目標からクリアしてこられた加藤さんの生き方を感じさせられました。チャレンジすること、し続けることの大切さを教えていただきました。

モンゴル文化交流

14日(木)には、佐久市モンゴル親善協会主催による出前授業が行われ、2,3年生が「スーホの白い馬」の朗読演奏会を楽しみました。朗読に合わせて馬頭琴という楽器が奏でる馬の鳴き声や走る音などがあり、臨場感にあふれる中、子どもたちはお話の世界に浸りこんでいました。また、モンゴル語での挨拶や食文化についても知ることができました。



20日(水)には、モンゴルから7人の小中学生が来校し、6年生とは空手、5年生とは折り紙、4年生とは習字を通して交流し、文化交流を図りました。異文化に触れることで、様々な価値観と世界の広さを実感し、自分の未来を思い描いてほしいと思います。